

平成26年度

決算

元気な渥美半島を 目指して



蔵王山展望台

平成26年度一般会計の歳入総額は、前年度に比べ2.0%増の322億3405万円、歳出総額は前年度に比べ4.2%増の304億1698万円となり、実質収支額は16億895万円の黒字となりました。

歳入 市税増収

市税収入は、51億943万円増(36.9%増)の189億6412万円となりました。

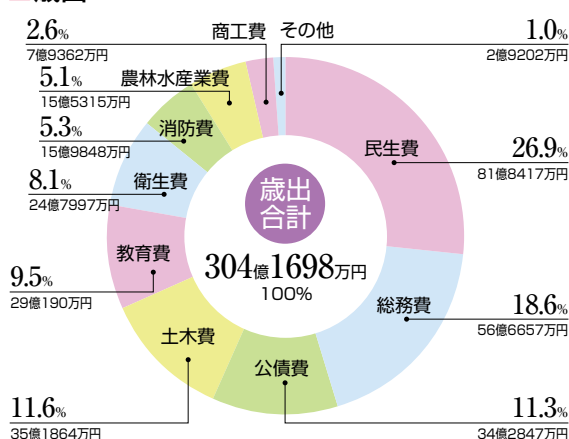
この主な要因は法人市民税で、前年度に比べ54億4271万円増(672.0%増)となりました。

また、大型建設事業が減少したため、国庫支出金は17億8156万円の減少(45.6%減)、市債は27億1600万円の減少(86.8%減)となりました。

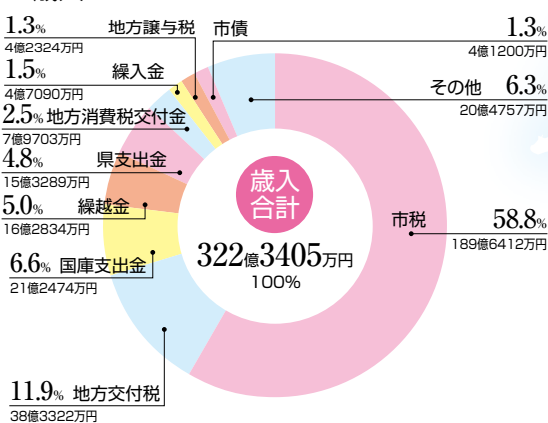
歳出 重点施策を着実に実施

厳しい財政状況の中、市民生活に直結する福祉・医療・教育などの行政サ

歳出



歳入



ビスの維持・拡充を基本に、防災や産業振興など優先度の高い事業を厳選し、選択と集中により4つの重点施策を実施しました。

特に平成26年度は、市税の増収により、財政調整基金への積立金を増額し

ました。

なお、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額(水道事業を除く)は、479億7033万円(0.5%減)、歳出総額は455億1129万円(7.8%増)となりました。

一般会計の歳入歳出決算

実施した重点施策の主な事業

【地域の安心安全の向上】防災情報システム整備／建築物耐震化推進／稲場保育園整備【ふるさと人材の育成】中小事業者チャレンジ支援／教育サポートセンター充実／生涯読書推進【地域の活力創出】シティセールス推進／蔵王山展望台リニューアル／6次産業化・農商工連携推進【快適で賑わいのある市街地づくり】中心市街地活性化推進／浦片土地区画整理／ぐるりんバス運行



稲場保育園

※【実質収支額】歳入歳出差引額から翌年度への繰越事業に充てる財源を控除した額。一年間の「損益」

※【財政調整基金】急激な税収の落ち込みや災害などに備えたりするための「貯金」

※【市債】市が施設や道路などを整備するために、国や金融機関から借り入れるお金。返済義務のある「借金」